

第1号報告

令和2年度事業報告

新型コロナウイルス感染症は令和2年度の後半に新規患者数が減少に転じたかと思われましたが、変異株の拡がりや再び増加の兆しをみせました。医療現場も年間を通じて混乱が続く年度となり、臨床検査の現場においても新型コロナウイルスの遺伝子検査導入が最重要課題と位置付けられ、検体採取から遺伝子検査導入、さらには時間外での検査の扱いなど、新たな課題に直面し対処する年度となりました。

当会の新型コロナウイルス対策として、京都府保健環境研究所の協力を得て新型コロナウイルス検査研修会を座学として1回、実技講習会として3回、Web版実技講習会を1回開催いたしました。さらに、遺伝子研究班の協力のもと、Web研修会を開催し、新型コロナウイルス遺伝子検査の精度管理調査を実施し27施設に参加いただきました。

事業の柱のひとつとしている府市民への健康増進事業はすべて中止として活動ができませんでした。「全国検査と健康展 京都会場」のなかで毎年実施している中高生進路支援ガイダンスも実施できませんでしたが、臨床検査や臨床検査技師のことを分かりやすく解説した『臨床検査A to Z』を発刊して今後の進路支援につなげることにしました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の流行によってデジタル化を加速させる効果もみられました。学術活動においては、対面式の研修会はほぼ開催できませんでしたが、Web研修会として開催することができました。さらに、昨年度延期となった「第1回京都医学検査学会」をWeb参加のみとして開催し、参加者からは高い評価を得ることができました。新入・転入研修会は内容を充実させて土曜日の午後に開催し、昨年度中止となった精度管理合同報告会、施設連絡責任者会議もWeb研修会方式で開催いたしました。ホームページのリニューアルとデジタル会員証導入に向け準備が進んでおり、令和3年度の早々には会員の皆さまに公開の予定です。

1. 衛生思想事業(継続事業 1)

1-1第47回くらしと健康展

昨年度は新型肺炎感染拡大の影響で開催できませんでした。

1-2京都府医療推進協議会主催イベント

昨年度は新型肺炎感染拡大の影響で開催できませんでした。

1-3子宮頸がん啓発活動 LOVE49

4月9日を「子宮頸がんを予防する日」として、全国各地で啓発活動が行われています。昨年度は新型肺炎感染拡大防止の観点から、例年のような会場でのイベント形式の活動は行えませんでした。京都保健衛生専門学校、京都橘大学のご協力で、啓発資料等の配布資料を学生及びオープンキャンパス来場者等に配布いただきました。啓発資料を読んでもらうだけであれば子宮頸がんに対する知識や、検診の大切さを知っていただくきっかけにはなっていないかと思えます。

1-4全国「検査と健康展」京都会場(日臨技公益委託事業)

昨年度は新型肺炎感染拡大の影響で開催できませんでした。

1-5京都府医師会・京都府臨床検査技師会合同研修会

昨年度は新型肺炎感染拡大の影響で開催できませんでした。

1-6あやべ食育・すこやかフェスティバル

昨年度は新型肺炎感染拡大の影響で開催できませんでした。

1-7舞鶴糖尿病講演会

昨年度は新型肺炎感染拡大の影響で開催できませんでした。

2. 精度管理事業(継続事業 2)

2-1精度管理事業

昨年度の精度管理調査は60施設(参加数61件)が参加されました。昨年度も各研究班共に評価をA～Dに統一すること、正解率は70%以上を目標にすることで行いました。精度管理事業を中止する府県もある中、京都府は行うことができました。ただし、京都府でも新型肺炎感染拡大防止の観点により試料調整や試料発送作業などを少人数で行ったこともあり、一部送付材料の不備、集計処理の間違いなどがあり、参加施設にご迷惑をおかけする部分もありました。その他細菌が生えづらい施設などの報告もあり、本年度事業に向けて検討していきたいと思っております。

事業名： 第36回京臨技精度管理調査
日 時： 令和2年10月29日～11月20日
参加施設： 60施設(参加数61件)

2-2合同報告会

昨年度も各研究班合同で、精度管理調査合同報告会を行いました。昨年度の報告会は新型肺炎感染拡大防止のため会場からの報告者及び関係者以外はすべてWebでの視聴となる初めての取り組みでした。各研究班の精度管理委員よりそれぞれの分野の解答、解説をしていただきました。全体的にはおおむね良好な精度であったと思います。出題の狙いや、出題の意図、解説など各研究班とも丁寧に解説いただきました。一部集計方法の誤りや各分野で問題不適となる出題もあるため、次年度へ向けて検討して行きたいと思っております。また、Webを利用した発表についても改善点があると考えため、検討してまいります。日臨技の進めている精度保証認定制度認証に必要な”精度管理に関する研修会への参加”に合致する本報告会は益々重要になると考えます。

事業名： 第36回京臨技精度管理調査合同報告会
日 時： 令和3年3月6日(土曜日) 14:40～17:00
場 所： 京都保健衛生専門学校及びWeb
主 題1： 各研究班精度管理報告
講 師1： 各研究班精度管理委員
参加数： 総数:73名(京臨技会員:70名、賛助会員:2名、非会員:1名)
報告者： 江口 光徳(宇治徳洲会病院)

2-3京都衛生検査所精度管理専門家会議

京都市衛生検査所立入調査に同行予定でしたが、新型肺炎感染拡大の影響で中止となりました。書面調査のみの対応を行っています。

3. 研究講習事業(継続事業 3)

別シート

4. 広報事業(継続事業 4)

ホームページやメールマガジン、行事予定表を利用して学術活動や事業活動の広報に努めました。会誌、会報(ニューズレター)を発行しました。

4-1.会誌

会誌 2020.Vol.47「令和2年度総会号」

<Contents>

会長挨拶

令和2年度定時社員総会報告

令和元年度事業報告書報告

令和2年年度事業計画書報告

令和2年度予算計画報告

令和元年度決算報告承認

理事任期満了につき21名選任の件

監事任期満了につき2名選任の件

令和元年度京都府臨床検査技師会理事会議事録

令和2年度名簿(役員・研究班・賛助会員)

令和元年度京都臨技ニューズレター(バックナンバー)

定款

4-2.会報(ニューズレター)

4月、8月、1月の3回発行しました。

4-3.ホームページ

随時更新を行い迅速な広報を実施しました。行事予定のページでは京臨技行事予定・研究班行事予定を随時ホームページに掲載しました。会員ページでは精度管理事業の報告や、各種行事の写真公開などを行いました。求人情報では71件の求人情報を掲載しました。会員様からのホームページ問合せに対して、問合せ内容に合った担当理事より適切で迅速な対応を行いました。

4-4.メールマガジン

ほぼ毎週発行し、通算950号を突破しました。3月時点でのメルマガ会員数は447名です。

5. 市民・資格者向け啓発事業(継続事業 5)

5-1定時総会

令和2年度一般社団法人京臨技定時総会が京都保健衛生専門学校で開催され、議決権保有会員数：1,188名(前回1165名)、出席者数：31名、委任状101名、書面行使638名、合計770名をもって成立しました。まず第1号報告、第2号報告、第3号報告がされ、次に第1号議案について詳細な説明ののち会場に諮り承認されました。また、第2号議案・第3号議案では理事・監事任期満了につき候補者を審議し選任しました。

事業名： 京臨技令和2年度定時総会
 日時： 令和2年6月25日(木) 18:30～19:10
 場所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
 主 題1： 京臨技定時総会
 参加数： 出席会員770名(うち書面行使638名、委任状101名)
 報告者： 佐藤 晴久(洛和会音羽病院)

5-2府・市民公開講座

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できませんでした。

5-3新入・転入会員研修会

例年恒例の新入転入会員を迎えて、日臨技と京臨技の組織・運営説明を白波瀬会長、今川副会長から報告を受けました。さらに昨年度からは新たな企画として、各研究班から「日直当直時に知っておくと役立つ知識」の講演をいただきました。これらは共にこれから経験を重ねてゆく臨床検査技師として、必ず知っておくべき事柄であり、必ず有用になるであろう内容ばかりでした。また本研修会は初めてWebと会場のハイブリットでの開催で行われ、遠方からの参加者も多く大変盛況な研修会となり、参加者からも今年度も期待する声をたくさん頂きました。

事業名： 第22回新入転入研修会
 日時： 令和2年9月19日(土) 14:00～16:30
 場所： キャンパスプラザ京都
 主 題1： 日臨技の組織・運営説明
 講師1： 白波瀬 浩幸 会長(日本臨床衛生検査技師会執行理事 京都府臨床検査技師会)
 主 題2： 京臨技の組織・運営説明
 講師2： 今川 昇 副会長(京都府臨床検査技師会)
 主 題3： 日直当直時に知っておくと役立つ知識 化学血清検査
 講師3： 北菌 竜彦 技師(京都第二赤十字病院)
 主 題4： 日直当直時に知っておくと役立つ知識 血液検査
 講師4： 田辺 祐也 技師(京都第二赤十字病院)
 主 題5： 日直当直時に知っておくと役立つ知識 輸血検査
 講師5： 多胡 聖子 技師(京都微生物研究所)
 主 題6： 日直当直時に知っておくと役立つ知識 生理検査
 講師6： 三宅 穂岳 技師(京都民医連中央病院)
 参加数： 総数：70名(京臨技会員：70名)
 報告者： 増田 信弥(京都民医連中央病院)

5-4京臨技北部学術発表会

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できませんでした。

5-5施設連絡責任者会議

昨年度の会議では新型コロナウイルスの検査について現在までの知識の整理と状況の再確認を行うことができました。また、精度管理をはじめとする様々な問題点を認識することができました。新たな事態に対応するため、体制を整える必要性を強く感じることができた会議でした。

事業名： 第16回 施設連絡責任者会議
日 時： 令和3年3月6日(土曜日) 12:30~14:30
場 所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
主 題1： 京都府臨床検査技師会の新型コロナウイルス検査の状況について・タスクシフティング業務の今後について
講 師1： 白波瀬 浩幸 会長(日本臨床衛生検査技師会執行理事・京都府臨床検査技師会)
主 題2： 京都府における新型コロナウイルス検査の状況について
講 師2： 浅井 紀夫 氏(京都府保健環境研究所 細菌・ウイルス課 課長)
主 題3： COVID-19感染拡大から1年:本邦のSARS-CoV-2検査体制の振り返りと精度管理の実態
講 師3： 田澤 裕光 先生(京都大学医学部附属病院臨床バイオリソースセンター特任病院教授)
参加数： 総数:32名(京臨技会員:32名)
報告者： 西村 和司(康生会武田病院)

5-6京都病院学会

昨年度はWeb開催となったため京臨技からの派遣はありませんでしたが、臨床検査部門は27題の演題発表があり、不慣れなWeb形式ではあったものの大きな混乱もなく運営されました。各自がWebサイトを閲覧する形での参加でしたがゆっくりと内容を把握できるなどのメリットもありました。参加人数も多く大変意義のある学会でした。

事業名： 第55回京都病院学会
日 時： 令和2年6月14日(日) 9:00~7月12日(日) 17:00
場 所： Web開催
主 題1： 特別講演「リハビリテーション医学の今と未来」
講 師1： 大高 洋平 先生(藤田医科大学医学部リハビリテーション医学 I 講座 主任教授)
主 題2： 基調講演「社会保障改革の展望と地域共生社会~2040年を見据えて」
講 師2： 鈴木 俊彦 先生(厚生労働事務次官)
全体数： 1440名
報告者： 増田 哲也(愛生会山科病院 臨床検査部)

5-7ベッドサイド実践研修会

昨年度は新型肺炎感染拡大の影響で開催できませんでした。

5-8地域ニューリーダー育成研修会

昨年度は新型肺炎感染拡大の影響で開催できませんでした。

5-10初級職能開発講習会

昨年度は新型肺炎感染拡大の影響で開催できませんでした。

5-11第1回京都医学検査学会

昨年度に新型肺炎感染拡大の影響のため延期となっていた第1回京都医学検査学会をWeb形式(ライブ配信)で開催いたしました。コロナ禍という特別な環境下で学会準備は非常に困難なものでしたが、多くの方々のご協力のもと開催することができました。一般演題は様々な分野から8題を発表いただきました。新型コロナウイルスPCR検査の精度管理についての発表もあり、コロナ禍の中で多くの人の関心を集めたのではないかと思います。教育企画のR-CPCでは症例を解説者にそれぞれの観点から推測してもらい、その後解説者の先生に詳しくご説明いただきました。Webや会場から質問も多数あり、オンラインとは思えないほどの活発な議論が行われ、多くの参加者から高評価をいただきました。最後の特別講演では著名な柳田先生にご講演いただきました。講演はご自身の経歴をもとに、われわれ臨床検査技師の将来の可能性を楽しく分かり易くお話していただきました。また、若手技師に今後の目標や希望を与える素晴らしい内容でした。今回の学会の実行委員や発表していただいた先生のほとんどは若手技師であり、今後を担う技師にとって有意義な学会になったと確信しております。

事業名： 第1回京都医学検査学会(Web開催)
 日時： 令和3年2月23日(祝) 11:00～17:00
 場所： Web開催 (キャンパスプラザ京都にて配信)
 主題1： 一般演題 8題
 講師1： 幸 諒磨 技師(京都民医連中央病院)
 講師2： 明星 壘 技師(京都工場保健会)
 講師3： 小野山 卓志 技師(宇治徳洲会病院)
 講師4： 下畝 和也 技師(宇治武田病院)
 講師5： 木下 博之 技師(京都第二赤十字病院)
 講師6： 田中 志穂 技師(京都市立病院)
 講師7： 中島 海里 技師(宇治武田病院)
 講師8： 白井 洋紀 技師(京都第一赤十字病院)
 主題2： CPC ～みんなで考えよう症例検討～
 講師9： 田辺 祐也 技師(京都第二赤十字病院)
 講師10： 栗野 敏光 技師(宇治徳洲会病院)
 主題3： 人生に、無駄な時間は一秒もない。～可能性に満ちた皆さんへ～
 講師11： 柳田 絵美衣 技師(慶應義塾大学病院)
 参加数： 総数:227名(京臨技会員:198名)
 報告者： 山田 雅(京都市立病院 臨床検査技術科)

6. 共催・後援・協力事業

6-1共催事業

事業名： 第14回京都府細胞診ワークショップ
 日時： 令和2年6月21日(日)
 会場： 京都保健衛生専門学校
 共催： 京都臨床細胞学会 京都府細胞検査士会
 *新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できませんでした。

事業名： 学20-024 血液Web講演会
 日時： 令和3年2月13日(土) 14:00～17:00
 会場： キャンパスプラザ京都 第一会議室
 共催： シスメックス株式会社

6-2後援事業

事業名： 第37回京都民医連中央病院細胞診教育セミナー
 日時： 令和2年4月～令和2年12月
 会場： 京都民医連中央病院 病理技術課
 主催： 公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院

事業名： 令和2年度高校生の病院臨床検査室見学
 日時： 令和2年7月18日(土)
 令和2年10月3日(土)
 会場： 京臨技所属施設の臨床検査室
 主催： 京都保健衛生専門学校

事業名： 「世界糖尿病デー」ブルーライトアップ
 日時： 令和2年11月14日(土) 18:00～22:00
 会場： 東寺五重塔、二条城、綾部市立病院、京都府庁旧本館
 南丹国際交流会館、伏見桃山城
 主催： 一般社団法人京都府医師会

事業名： 令和2年度市民公開シンポジウム
 「視えない“乳がん”を診けだす」ー早期発見・早期治療を支える放射線技術ー
 日時： 令和2年11月22日(日)
 会場： メルパルク京都
 主催： 公益社団法人 日本放射線技術学会

事業名： 京都臨床検査技師セミナー2020
 日時： 令和2年12月7日(月)
 会場： Web開催
 主催： ブリストルマイヤーズスクイブ株式会社

事業名： シスメックス学術セミナー
 日時： 令和3年6月5日(土)
 会場： Web視聴

主 催： シスメックス株式会社

事業名： 京都臨床検査技師セミナー2021
日 時： 令和3年3月17日(水) 18:30~19:30
会 場： Web開催
主 催： ブリストルマイヤーズスクイブ株式会社

事業名： 第27回日本胎児心臓病学会
日 時： 令和3年2月26日(金)・27日(土)
会 場： Web開催
主 催： 日本胎児心臓病学会

事業名： 後天性血友病web講演会
日 時： 令和3年3月10日(水)
会 場： Web開催
主 催： 一般社団法人日本血液製剤機構(JB)

6-3賛助

該当なし

6-4行事出席(Web参加)等

事業名： 京都府との打ち合わせ(新型コロナウイルス感染症対応)
日 時： 令和2年5月1日(金)・13日(水)
会 場： Web開催 白波瀬会長

事業名： 日臨技新型コロナウイルス感染症対策本部会議
日 時： 令和2年5月15日(金)・26日(火)
会 場： Web開催 白波瀬会長

事業名： 京都府衛生検査所精度管理専門委員会・専門家会議
日 時： 令和2年9月2日(水)
会 場： 井門明治安田生命ビル 藤内前理事

事業名： 第79回公衆衛生学会総会・実行委員会
日 時： 令和2年10月9日(金)
会 場： Web参加 白波瀬会長

事業名： 第47回くらしと健康展 実行委員会
日 時： 令和2年11月18日(水)
会 場： 京都府医師会館 中村理事

7.総務事業

令和2年度は、年度末会員数1217名(前年度1188名)賛助会員54社でした。財務を見直し、コロナ禍においても会員の技術向上に向けた研修等へのバックアップを行いました。